

点検評価表（外郭団体）

I 団体の概要

（平成30年4月1日現在）

団体名	公益社団法人静岡県農業振興公社		
所在地	静岡市葵区追手町9番18号	設立年月日	昭和41年9月13日
代表者	理事長 大谷 徳生	県所管課	経済産業部農業ビジネス課
設立に係る根拠法令等	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律		
団体の沿革	昭和41年 社団法人静岡県家畜育成公社として設立。昭和57年3月に 社団法人静岡県農業畜産振興公社、平成8年4月に社団法人静岡県農業振興公社に名称変更。平成25年4月に公益社団法人に移行し、平成26年3月に農地中間管理機構の指定を受ける。		
運営する施設	無し		
団体ホームページ	http://shizuoka-nk.or.jp		

出資者	出資額(千円)	比率(%)
静岡県	50,000	50.0
静岡県経済農業協同組合連合会	25,000	25.0
静岡県信用農業協同組合連合会	16,250	16.3
全国共済農業協同組合連合会静岡県支部	8,750	8.8
基本財産(資本金)計	100,000	100.0

役職員の状況(人)			
常勤役員	1	常勤職員	20
うち県OB	1	うち県OB	13
うち県派遣	0	うち県派遣	1
非常勤役員	12	非常勤職員	4
役員計	13	職員計	24

II 点検評価（団体の必要性）

1 団体の設立目的（定款）

この法人は、農業経営の改善及び規模の拡大を促進するとともに、農業の担い手の確保及び育成支援を行うことにより、静岡県の農業の振興と発展に寄与することを目的とする。

2 団体が果すべき使命・役割

担い手への農地の集積・集約化、新規就農者の確保・育成、農業法人の育成などにより、活力ある静岡県農業の実現に向けて事業推進を図る。

3 団体を取り巻く環境

区分	内容
団体を取り巻く社会経済環境の変化や新たな県民ニーズ	担い手の高齢化や減少が進む中、生産力強化のための農業経営の規模拡大、新たな担い手の育成、法人化等は喫緊の課題である。 当公社は、農地の貸借や売買による担い手への農地の集積・集約化に取り組むとともに、企業の農業参入支援、新規就農者の育成等の重要な役割を果たしている。
行政施策と団体活動との関係(役割分担)	静岡県総合計画に掲げられた「世界水準の農芸品の生産力強化」の活動指標・目標値である「農地中間管理機構を活用した農地集積面積・累計6,660ha」「農業法人数・1,000法人」等、県農政の政策実現のため、農地の集積・集約化、担い手の育成などに関する事業に取り組んでいる。
民間企業や他の団体との関係(役割分担)	当公社は「農地中間管理事業の推進に関する法律」により、農地中間管理機構として県知事に指定された県内唯一の団体である。農地の貸借・売買事業は、法的規制等により、民間事業者の参入が困難である。また、ノウハウや実績を持つ公社が、地域性を考慮しながら新規就農者の育成や企業参入の促進を図っている。

4 事業概要

(単位:千円)

区分	事業名	事業概要	H29 決算	H30 予算
県補助	農地中間管理事業	農用地等を離農者等から借入れ、担い手農業者へ集積して貸付ける。借り受けた農用地等の保全管理	234,632	283,050
県補助	農地売買支援等事業等	農用地等を離農者等から買入れ、担い手農業者へ売渡す。	110,773	227,834
県委託	青年農業者等育成事業	就農相談業務、新規就農者養成制度の研修者募集等。	22,340	25,366
県委託	企業参入等支援センター設置事業	企業の農業参入、農業者の法人化等についての相談・助言、専門家派遣等への支援。	8,638	5,919
県補助	農業コンサルティング推進事業	農業者の経営改善、法人化等のため、経営課題の解決の専門家派遣等の支援を行う。	—	20,000
合 計			376,383	562,169

5 事業成果指標

指標の名称(単位)	目標(上段)及び実績(下段)				目標値(年度)
	H27	H28	H29	評価	
農地中間管理事業貸付実績(面積:ha)	806.5	750	750	A	900 (30年度)
	439.8	405.5	826.9		
農地売買支援事業買入実績(面積:ha)	13.9	12.8	11.3	A	11.3 (30年度)
	4.4	1.3	12.3		
就農等に係る相談(件数)	250	250	250	A	250 (30年度)
	396	328	257		
農業の法人化等に向けた派遣(経営体数)	—	40	40	B	100 (30年度)
	—	31	34		

※評価 … A:目標達成 B:目標未達成 C:目標未達成(乖離大)

6 事業成果の総括評価

団体の自己評価		県所管課による評価	
判定	評価	判定	評価
○	<p>農地中間管理事業は、平成29年度の担い手への貸付面積が826.9haで前年比204%、目標を上回った。</p> <p>農地売買等支援事業は、酪農を行う農業法人が規模拡大のために牧草地を購入したことから、前年度に比べ事業実績が伸びた。</p> <p>民間業者主催の相談会に参加する等様々な機会を活用し目標を上回る就農相談を実施した。</p> <p>農業の法人化に向けた専門家派遣は、問い合わせがあったが、派遣基準に合致しない案件もあり、目標を下回った。平成30年度は、利用者ニーズの高い経営相談を派遣メニューに加えた。</p>	○	<p>農地中間管理事業は、順調に貸付面積を伸ばした。</p> <p>売買支援事業については、前年度に比べ大幅な事業実績を上げた。</p> <p>青年農業者など育成センター業務の相談件数は、目標を上回った。</p> <p>農業の法人化等に向けた専門家派遣は、2年連続を目標を下回っているものの、派遣件数は、増加した。また、事業内容の見直しにより平成30年度は、目標を上回ることが期待できる。</p>

※判定欄 … ○:良好 △:改善を要する ×:抜本的な改革が必要

7 団体の必要性の評価

団体の自己評価		県所管課による評価	
判定	評価	判定	評価
○	<p>高齢化による農業従事者の減少が進む中、農業産出額向上のため新たな農業の担い手確保及び農業の経営規模の拡大は、静岡県農業の発展の喫緊の課題である。公社は、県と連携し、担い手確保として企業の農業参入、新規就農者の育成確保事業、経営希望の拡大のため農地の集積・集約化、法人化推進事業に取り組んでおり、静岡県農業の発展に貢献してきたと考えている。また、新たに「静岡県農業経営相談所」としての機能が加わり、公社の必要性が高まっている。</p>	○	<p>静岡県農業の発展の喫緊の課題は、団体記載のとおりである。 これらの課題解決のために、県と連携して、企業等の農業参入支援、新規就農者の育成事業に取り組み、農地中間管理事業に指定された県内唯一の団体として農地の集積・集約化においても、大きな役割を果たしてきた団体である。</p>

※判定欄 … ○:良好 △:改善を要する ×:抜本的な改革が必要

8 団体改革の進捗状況（過去の行財政改革推進委員会からの意見への対応状況）

行財政改革推進委員会意見 (経営健全性に係るもの以外)	対応状況	
	団体記載	県所管課記載
外部有識者の意見等も踏まえ見直しへの取組を継続	○ 有識者の意見や平成26年度からの農地中間管理事業の実施など、公社事業の見直しを進め、公社の体制を強化した。	○ 農地中間管理事業については、外部有識者による評価委員会を設置(H26～)
静岡県の地域特性に応じた事業を効果的・効率的に実施	○ 農林事務所に駐在職員を置くなど、現場に密接に対応した事業推進を図っている	○ 県内3箇所駐在員を配置(H27～)
農協、県、他の団体との役割分担の検討。農業振興基金協会と連携した事業の実施や統合を検討	○ 農地中間管理事業、担い手育成などは市町、農協との役割分担のもと効果的に実施。農業振興基金協会とも連携した事業実施を行っている。	○ 農業振興基金協会と連携して農業新人材確保育成事業を創設(H24)

※○:対応済 △:対応中 ×:未対応

Ⅲ 点検評価（経営の健全性）

1 財務状況

（単位：千円）

区 分	H27 決算	H28 決算	H29 決算	評価	備考（特別な要因等）	
健全性指標	単年度収支 (d-h)	-1,364	-2,012	38	A	
	経常損益 (a+b-e-f)	-1,364	-2,011	38	A	
	公益目的事業会計	-2,216	-1,593	1	—	
	収益事業等会計	0	0	0	—	
	法人会計	852	-418	37	—	
	剰余金	8,724	6,712	6,750	A	

※評価 … A:プラス B:特別な要因によるマイナス C:マイナス

区 分	H27 決算	H28 決算	H29 決算	主な増減理由等	H30 予算	
資産の状況	資産	124,459	134,353	125,206		127,800
	流動資産	14,485	23,963	14,404	未収金の増額	16,892
	固定資産	109,974	110,390	110,802		110,908
	負債	65,735	77,641	66,237		71,050
	流動負債	6,603	18,717	6,728	未払金の減少	11,260
	固定負債	59,132	58,924	59,509		59,790
	正味財産/純資産	58,724	56,712	56,750		56,750
	基本財産/資本金	50,000	50,000	50,000		50,000
	剰余金等	8,724	6,712	6,750		6,750
	運用財産	0	0	0		0
収支の状況	事業収益 (a)	204,637	256,787	390,056	事業費の増額	562,873
	うち県支出額	143,946	192,327	201,061		252,495
	(県支出額/事業収益)	(70.3%)	(74.9%)	(51.5%)		(44.9%)
	事業外収益 (b)	1,603	1,197	844		180
	うち基本財産運用益	1,599	1,196	833	県債の満期償還による	180
	特別収益 (c)					
	うち基本金取崩額					
	収入計 (d=a+b+c)	206,240	257,984	390,900		563,053
	事業費用 (e)	207,604	259,996	390,862	事業費の増額	563,053
	うち人件費	66,555	85,002	100,188		114,484
	(人件費/事業費用)	(32.1%)	(32.7%)	(25.6%)		(20.3%)
	事業外費用 (f)					
	特別損失 (g)					
支出計 (h=e+f+g)	207,604	259,996	390,862		563,053	
収支差 (d-h)	-1,364	-2,012	38		0	

2 経営改善の取組の実施状況と評価

平成29年度は、農地の貸借及び売買の実績が28年度を大きく上回り、手数料収入等が増加したことから、経常損益が黒字となった。引き続き、安定的な自主財源の確保を目指していく。

3 赤字の要因（前年度の単年度収支、経常損益が赤字の団体のみ記載）

赤字なし

4 経営の健全性の総括評価

団体の自己評価		県所管課による評価	
判定	評価	判定	評価
○	<p>公社は公益目的事業のみ実施しており、収支相償が原則であるが、単年度の経常黒字を維持するため、自主財源の確保に取り組んでいる。</p> <p>平成29年度は農地の貸借、売買の手数料の増加により黒字となったが、今後は運用益の減少や農地売買の案件の減少などが考えられ、安定的な収入を確保することが課題と考えている。</p> <p>このため、引き続き農地中間管理事業の拡大による手数料確保とともに、効率的経営による経費の削減等の改善に引き続き取り組むことで、確実に事業が公社の基礎的運営を支える財務体制継続できるようにしていく。</p>	○	<p>厳しい財政状況の中で、平成29年度の収支が黒字となったことは評価できる。なお、県債(10年)が平成29年度中に満期を迎え、運用益収入が落ち込むことから団体の財務状況を、引き続き、注視していく。</p>

※判定欄 … ○:良好 △:改善を要する ×:抜本的な改革が必要

5 団体改革の進捗状況（過去の行財政改革推進委員会からの意見への対応状況）

行財政改革推進委員会意見 (経営健全性に係るもの)	対応状況	
	団体記載	県所管課記載
特になし		

※○:対応済 △:対応中 ×:未対応

IV 改善に向けた今後の方針

1 点検評価を踏まえた経営の方向性

今後の展望、中期的な経営方針(団体記載)	団体の方針に対する意見等(県所管課記載)
<p>今後も平成35年を目標とした国の制度、平成33年度目標の県総合計画の実現に基づき、公社においても農地の集積・集約化、担い手の育成のための事業推進に努めるとともに、自主財源の確保に取り組み、安定的な経営を目指す。</p> <p>特に、平成31年度から国は農地中間管理事業の事務作業等の見直しを行うこととしており、より一層の経営改善に向け取り組んでいく。</p>	<p>左記のとおりであり、団体が方針どおり取り組むことを期待する。</p>

2 今年度の改善の取組

団体の取組(団体記載)	団体の取組に対する意見等(県所管課記載)
<p>今年度の農地の集積・集約化の事業については、市町、農業委員会、農協等の関係団体と連携を強化して、重点実施区域において着実な農地の貸借を推進するほか、借受けた農地において農地整備事業等を行い、農地の貸付を進める。</p> <p>また、評価委員等の意見を踏まえ、経費の削減、事業効果の拡大を図る。特に、農地中間管理事業については、借受・貸付面積を増やし、手数料による収入確保を図る。</p> <p>担い手の育成については、農業の法人化に向けた専門家派遣において利用者ニーズの高い経営相談を派遣メニューに追加する。</p>	<p>左記のとおりであり、団体が方針どおり取り組むことを期待する。</p>

V 組織体制及び県の関与

1 役職員数及び県支出額等

(単位:人、千円)

区分	H27	H28	H29	H30	備考(増減理由等)
常勤役員数	1	1	1	1	
うち県派遣					
うち県OB	1	1	1	1	
常勤職員数	14	19	22	20	
うち県派遣	1	1	1	1	
うち県OB	8	10	14	13	
県支出額	143,946	192,327	201,061	252,495	
補助金	119,819	165,330	170,163	221,290	
委託金	24,127	26,997	29,648	29,955	
その他	0		1,250	1,250	
県からの借入金	1,636	818	0	0	
県損失補償等					

※役職員数は各年度4月1日時点、県支出額は決算額(当該年度は予算額)、借入金・損失補償等は期末残高

2 点検評価(団体記載)

項目	評価	評価理由
定員管理の方針等を策定し、組織体制の効率化に計画的に取り組んでいるか	○	定員管理計画に基づき計画的に効率的な人員体制の構築に取り組んでいるが、平成26年度から国が新たに始めた農地中間管理事業を確実に進めるため、職員を増員し事業実績をあげることができた。今後も、効率的効果的な人員体制を構築し、事業実施に努める。
常勤の役員に占める県職員を必要最小限にとどめているか	○	常勤役員に県職員はいない。理事10人のうち非常勤の理事1人が経済産業部農林水産戦略監である。
常勤の職員に占める県からの派遣職員を必要最小限にとどめているか	○	平成29年度において、常勤職員22人のうち県職員1人で、必要最小限にとどめている。派遣職員の専門的知識を事業推進に役立てている。

※ 評価欄 … ○:基準を満たしている △:基準を満たしていないが合理的理由がある ×:基準を満たしていない

3 点検評価(県所管課記載)

項目	評価	評価理由
県からの派遣職員について、必要性、有効性が認められるか	○	県からの派遣職員は、農地中間管理事業を担当しており、自身が持つ専門的な知識や経験を活かし、県、市町等関係機関との調整役を務め、円滑な事業推進に大きく貢献しており、不可欠な存在となっている。
県からの補助金等の支出や借入金等について、必要性、有効性が認められるか	○	静岡県農業発展のための事業に取り組み、良好な事業実績を残す等団体の機能を十分に発揮しており、県の農業振興に寄与している。

VI 更なる効果的事業の実施に向けた取組

1 外部意見把握の手法及び意見

区分	実施	結果公表	実施内容	主な意見・評価
外部評価委員会	○	○	農地中間管理事業の推進に関する法律に基づき、外部委員で構成する評価委員会を設置している。毎年、農地中間管理事業の実績や推進体制などの評価を受け、事業改善に生かすとともに、評価結果をホームページで公表している。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実績は前年比倍増、さらに流動化が難しい茶園も実績が伸びているなど、評価できる。 ・推進体制は年々整備されつつある。五者農地検討会によりさらに推進体制が強化される。 ・新規就農者のための農地の確保が重要である。
利用者アンケート	○	—	新規就農の年2回現地見学会時に参加者を対象にアンケートを行い、その意見を踏まえ事業改善を行っている。1つの事業に特化して質問項目を設定しており、かつ、サンプル数が少ないため公表していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に農場が見学でき、農業者から具体的な話が聞けて、就農のイメージがしやすかった。 ・新規就農者の話が聞けると良かった。
利用者等意見交換会	○	○	農業経営士協会や認定農業者協会などの役員との意見交換のほか、各地域の担い手との意見交換を実施し、効果的な事業実施に役立てている。農地中間管理事業に関する意見については、ホームページに公表している。	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の集積・集約化は重要であるが、農地だけでなく担い手の育成も急務であり、農地集積と担い手育成と併せた事業の仕組みが必要である。 ・公社名や理事長名が出てくるので地権者が信用してくれて助かっている。今後も規模拡大をしていきたい。
その他 ()				

○:実施している／公表している —:実施していない／公表していない

2 事業やサービスの見直し例

・農地中間管理事業の推進を図るため、公社や市町、農協の事務作業の効率化を進めるため管理システムの導入を進めた。また生産者団体や農業委員会との連携強化や優良事例のPR、文字を減らしわかりやすいリーフレットの作成など様々な取組を行った。また現地駐在員を現場説明会等に積極的に参画させ、事業の推進を図った。
 ・新規就農現地見学会の参加者アンケートで要望が多かった新規就農者の動機や経営状況など就農事例をホームページに追加した。入門誌「新たに農業を始めようと思っている方へ」を刷新した。